【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2017-137432(P2017-137432A)
【公開日】平成29年8月10日(2017.8.10)
【年通号数】公開・登録公報2017-030
【出願番号】特願2016-19984(P2016-19984)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　9/24　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/26　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/28　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/30　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　15/08　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/543　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　9/24　ＣＥＳ
Ｂ０１Ｊ　20/26　Ｈ
Ｂ０１Ｊ　20/28　Ｚ
Ｂ０１Ｊ　20/30
Ｂ０１Ｄ　15/08
Ｇ０１Ｎ　33/543　５２１

【手続補正書】
【提出日】平成30年12月20日(2018.12.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポリオレフィンから構成されるポリオレフィン粒子を含み、
厚さが０．０５～１ｍｍであり、
累積細孔分布の大径側から累積１０％、累積９０％に相当するメジアン細孔直径をそれぞれ、Ｄ１０、Ｄ９０としたとき、Ｄ１０／Ｄ９０比が１０以下のメジアン細孔直径分布を有し、
細孔容積が０．１ｃｍ^3／ｇ以上２．０ｃｍ^3／ｇ以下であり、かつ、メジアン細孔直径が１μｍ以上１５μｍ以下であり、かつ、連続空孔を有する、ポリオレフィン多孔質焼結成形体。
【請求項２】
アルミニウム含有量が１ｐｐｍ以上３０ｐｐｍ以下である、請求項１に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体。
【請求項３】
塩素含有量が１０ｐｐｍ以下である、請求項１又は２に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体。
【請求項４】
前記厚さが０．１～０．８ｍｍである、請求項１～３のいずれか１項に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体。
【請求項５】

前記ポリオレフィンが、エチレンの単独重合体である、又は、エチレンと炭素数が３以上のオレフィンとの共重合体である、請求項１～４のいずれか１項に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体。
【請求項６】
前記ポリオレフィンが、粘度平均分子量５０万～１０００万であることを特徴とする、請求項１～５のいずれか１項に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体。
【請求項７】
前記ポリオレフィンが、親水性を有するエチレン性不飽和基含有モノマー又はその重合体から選ばれる少なくとも１種の分子鎖をグラフトさせたポリオレフィンである、請求項１～６のいずれか１項に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体。
【請求項８】
請求項１～７のいずれか１項に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体の製造方法であって、
前記ポリオレフィン粒子を金型内に充填することによって焼結成形を行う工程を有する、ポリオレフィン多孔質焼結成形体の製造方法。
【請求項９】
請求項１～７のいずれか１項に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体の製造方法であって、
前記ポリオレフィン粒子を堆積させることによって焼結成形を行う工程を有する、ポリオレフィン多孔質焼結成形体の製造方法。
【請求項１０】
請求項１～７のいずれか１項に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体と、当該ポリオレフィン多孔質焼結成形体が積層された基材と、を備える、積層体。
【請求項１１】
請求項１～７のいずれか１項に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体、又は請求項１０に記載の積層体を含む、吸着固定搬送用シート。
【請求項１２】
請求項１～７のいずれか１項に記載のポリオレフィン多孔質焼結成形体、又は請求項１０に記載の積層体を含む、イムノクロマト法による迅速検査キットの支持体用シート。